

【NO 489】

令和4年1月

下関港長府地区3号岸壁大型貨物船入出港に伴う 航行安全対策調査専門委員会

1 委員会報告書概要

この委員会では、4万DWT級貨物船の下関港長府地区3号岸壁への入出港及び係留の安全性について調査・検討し、必要な航行安全対策を取りまとめた。

入出港時の安全性については、着岸岸壁前面の余裕水深確保のため潮位利用を行うこと及び隣接岸壁に係留船舶が存在することを前提とし、接岸速度や制御力等の基礎検討を行ったうえで、ファストタイム操船シミュレーション及びビジュアル型操船シミュレータを用いた操船実験を行い入出港可能な条件を検討した。この検討に併せ、係留中の対象船舶が、隣接岸壁の係留船舶の入出港操船に及ぼす影響の有無についても確認した。

係留時の安全性については、係留設備の強度・配置及び対象船舶の係船設備等に基づき、OCIMFの計算手法を用いて係留可能な風速を確認した。

2 調査等概要

- (1) 調査計画
- (2) 受入計画
- (3) 航行環境
- (4) 基礎検討
- (5) 入出港時の安全性検討
- (6) 係留時の安全性検討
- (7) 航行安全対策